

国勢調査が実施されます!!

国勢調査は、令和7年10月1日現在、日本に住むすべての人と世帯（外国人の方を含む）を対象として行う調査です。

国や地方公共団体が正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、正確な回答をしていただく必要があります。令和7年国勢調査へのご協力をお願いします。

●結果は何に使われるの？

調査の結果は、我が国の人口の基本となる法定人口として、選挙区の区割りや地方交付税の算定の基準などに利用されます。

また、男女・年齢別人口、昼間人口、世帯構成（高齢者のいる世帯など）、産業別の人口などの統計は、国や地方公共団体の社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などをはじめとして、あらゆる施策の基礎データとして利用されます。また、民間企業等においても、さまざまな分野で幅広く活用されています。

●どうやって回答するの？

インターネット回答のほか、調査票を郵送又は調査員に提出する方法により回答を行います。

※この調査ではインターネットでの回答をおすすめしています。



詳しくは、こちらをご覧ください。



▶問い合わせ先＝企画課 広報係 ☎0285（56）9117

上三川ごぼれ話 第33話「日光社参と助郷役」

NHKの2025年大河ドラマ『べらぼう〜鳶重栄華乃夢斬〜』は、江戸時代中期から後期(18世紀後半)を舞台に、江戸のメディア王とも呼ばれた出版人・鳶屋重三郎（つばやえいざぶろう）の生涯を描いています。江戸や吉原の風習、そこに関わる人々の生活の様子などが描写され、11話では、日光社参の出立の様子が描かれ、江戸の町民たちが興味津々に眺めているシーンがありましたね。

日光街道が通る栃木県、ひいては上三川の人々にとって、日光社参とはどういったものだったのでしょうか。

江戸時代の上三川地域は、宇都宮藩のほかいくつかの藩領・数十名の旗本の知行所・大領・寺社領などに細分化され、複雑な支配下に置かれていました。

日光街道とは、江戸から小山宿を経て日光鉢石宿（ひちいし）までの街道のことです。こうした主要街道の各宿駅では、無料で人馬を提供する伝馬人足と、有料で荷物や人を運ぶ駄賃人馬を用意していました。しかし、日光社参のような大行列になるとそのシステムだけでは人馬が不足したため、近隣の村々から提供させました。この制度を助郷（すけごう）、人馬を提供した村々のことを助郷村（すけごうむら）といいました。助郷は原則として宿場を補助するための一時的な制度でしたが、次第に常態化して強制労働化し、人々と村は疲弊していきました。

上三川の村々も例に漏れず多功から結城まで人馬を継送する費用の補助を領主に願い出た多功宿の百姓や、將軍家の日光社参の際は西蓼沼村から今市宿へ勤めに行ったという記録からも、人々の負担の大きさがつかがえます。

日光社参の華やかさは、日光街道付近の村と人々の苦勞によって支えられていたのです。

▼問い合わせ先＝生涯学習課 文化係 ☎0285(56)3510

消費生活センターにご相談ください
えつ、2時間後に電話が使えなくなる!?
個人情報聞き出す不審な電話に注意

消費豆知識

143

事例

自宅の固定電話に国の行政機関を名乗り「この電話はこれから2時間後に通信でなくなる」という電話がかかってきた。非通知設定からの着信だった。突然通信でなくなるとは明らかにおかしい。自動音声ガイダンスで「1」を押すよう促されたが、国の行政機関をかたる詐欺の手口だと思い電話を切った。他のお宅にも同様の電話がかかってくる可能性があると思うので情報提供する。

●国の行政機関や電話会社などをかたる、自動音声ガイダンスやSMS(ショートメッセージサービス)を使った不審な電話に関する相談が多数寄せられています。

●行政機関や電話会社から、電話を停止することに関して、自動音声ガイダンスやSMSを使って連絡することは絶対にありません。すぐに電話を切りましょう。

●非通知や知らない番号からの電話には普段から慎重になりましょう。個人情報 は絶対に伝えないでください。

●不安なときは、消費生活センターや警察等にご相談ください。
(消費者ホットライン188、警察相談専用電話「#9110」番)

▼相談日時＝月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所＝上三川町消費生活センター(役場1階 地域生活課内)

▼相談専用電話＝☎0285(56)9153

まずは、お電話を。消費者ホットライン188でもつながります。

